

8月の園だより

令和4年7月29日
下笠保育園

暑中お見舞い申し上げます。園庭の木々には蝉が鳴き、夏本番を知らせています。この厳しい暑さの中でも子ども達は、元気一杯、水遊び、プール遊びを満喫しています。シャンプーや洗剤の空き容器を水鉄砲にして遊んだり、大きい組の子は、水中に顔をつけることができるようになりました。ワニの格好でプールを端から端まで速く移動する“ワニさん競争”という遊びもしています。小さい組の子は、顔に水がかかっても手のひらで拭いて笑顔一杯です。中には、水しぶきがかかって逃げ出す子もいますが、この夏のプール遊びで何とか克服できないものかと、いろいろ挑戦中です。真っ黒に日焼けして一段と遅くなって欲しいと思います。



この時期は、暑さで食欲が低下したり、疲れが重なったりと体調を崩しやすくなります。睡眠や食事に気をつけ、元気に「楽しい夏」が過ごせるよう御協力をお願い致します。

【今月の目標】
【養護】 夏の衛生や安全に留意し、心身の疲れを癒し健康管理を図る。
【教育】 プール遊び・水遊びなど夏の遊びを十分に楽しむ。

I. 8月の行事予定、誕生日おめでとう、新しいお友だち

行事予定		誕生日おめでとう
9日(火)	お茶会(空組)	《ももぐみ》
10日(水)	避難訓練、 親子徒歩登園	くん
11日(木)	山の日	くん
19日(金)	誕生会	
23日(火)	英会話(空組)	
24日(水)	身体測定(桃組・赤組)	
25日(木)	身体測定(黄組・青組・空組) 描画教室(空組)	
26日(金)	子育てサークル「ふれんず」 プール納め、すいかわり大会	
30日(火)	栄養指導(3歳以上児)	
○日	夏祭り	
8月12日(金)～8月15日(月) 盆休み		

※・・・の標記は保護者の参加を伴う行事です。

II. 保護者の方々へのお知らせ・お願い

(1) 熱中症対策について

夏の到来とともに「熱中症」に関するニュースをよく耳にします。熱中症は死亡することのある重大な状態です。死亡に至らなくてもけいれんによる脳障害、循環器不全による腎不全などの後遺症も考えられます。子どもは自分から危険を感知する能力や、危険を回避する能力が非常に乏しいので大人が常に注意する必要があります。ここでは症状と対応(手当)並びに予防についてお知らせします。熱中症にならないためには予防が最も大切です。右段の枠内に示します6つの事項を心がけてください。

- ① 帽子をかぶり風通しのよい服装をする。
- ② 炎天下での激しい運動は避ける。
- ③ 汗で失われた塩分と水分を補給する。
- ④ 寝不足など体調不良のときは運動を避ける。
- ⑤ 車中に赤ちゃんを置き去りにしない。
- ⑥ ベビーカーは地面からの照り返しで熱い。

(2) 食中毒に注意願います。食中毒警報が発令されました。

令和4年6月28日、午前11時、岐阜県より今年1回目の食中毒警報が発令され、食品の取扱いや衛生管理の徹底が呼び掛けられました。厳しい暑さがはじまり発令基準に該当したためです。次の食中毒予防三原則をご家庭におきましても徹底してください。園でも徹底して行っています。また、園では調理室に紫外線殺菌が可能な手指乾燥器を導入し、更なる衛生面の強化を図っています

- ① 清潔…………… 手洗い、まな板・布巾・食器等の消毒
- ② 迅速…………… 調理した食品はできるだけ早く食べる
- ③ 加熱又は冷却…………… 食品は十分に火を通すか、冷蔵庫に入れる

(3) ラジオ体操に参加しましょう。早寝早起きは豊かな情緒を育むうえでも重要です。

どの地区も夏休み中は、ラジオ体操が実施されていると思います。地域のお姉さん・お兄さんたちと触れ合ういい機会です。早寝・早起きして元気に参加しましょう！遅寝遅起き・睡眠不足等の生活リズムの乱れは、集中力や知的活動の低下に繋がると考えられています。早寝・早起きといった規則正しい生活や元気な外遊びは、豊かな情緒を育むためにも欠かせないのです。

III. 活動報告 トピックス「大きな笹だな～」

7月5日は七夕まつりでした。どのクラスも織姫や彦星のかわいい飾りを作ったり、短冊に願いを書いて大きな笹に飾り付けました。「ももたろうになれますように」「カップさんになりたいです！」など、個性あふれる願い事がとってもかわいらしいですね。今年の七夕まつりはあいにくの雨でしたが、園庭に立てられた大きな笹を見て、「すご～い！おっきいな～！」と感動する姿がありました。天気の良い日に笹の近くへ行くと、「さ～さ～の～は さ～らさら～♪」と自然にみんなで歌いだす子ども達でした。

これからもみんなが健康に元気に過ごせますように・・・。
(保育士 大橋)



IV. 健康メモ「手足口病」

手のひら、足のうら、口の中に小さな水ぶくれができる病気です。おしりやひざにできることもあります。乳幼児のあいだで流行します。以前にかかったことのある子でもまたうつる場合があります。手足の水ぶくれは痛みませんが、口の中が痛くて食べられなくなることがあります。そんなときは熱いもの、塩味や酸味の強いもの、かたいものはひかえ、しみないものを与えてあげましょう。